

令和5(2023)年度

ウィークエンド青少年セミナー

第5回 実施報告

実施日:令和5(2023)年 12月 16日



ウィークエンド青少年セミナーは、青少年がボランティアについて学び、講座やイベントの企画や実践を通して、ボランティア活動や地域貢献活動に参加するために必要な知識や技術の習得を目指すセミナーです。

第5回は、演習「学びの杜の冬休みで活動を実践しよう」、振り返り「学びの杜の冬休みに参加して」を行いました。



○演習「学びの杜の冬休みで活動を実践しよう」

総合教育センター職員

グループごとに、それぞれが企画した活動を、センター開放事業「学びの杜の冬休み」の中で実践しました。

最初に、子どもたちへの安全配慮等、特に運営上注意すべきポイントについて確認しました。その後、ブースをオープンし、準備していた活動に取り組みました。受講者は、子どもたちが楽しめるように、保護者も含めて積極的に話しかけていました。想像以上の来場者数に対応に手間取る場面もありましたが、協力して活動を進めていました。限られた時間の中での企画・準備・実践という演習でしたが、受講者にとって多くの気づきがあったようでした。

大盛況！



演習の様子

受講者は、企画した活動に取り組みました！





演習の様子

「学びの杜のキッズパーク」として運営しました。
A班は「スライムづくり」、B班は「マンカラ・シューティングゲーム」を実践しました！



〇振り返り「学びの杜の冬休みに参加して」

総合教育センター職員

グループごとに、学びの杜の冬休みで実践した活動の振り返りをしました。設定したねらいに沿った活動ができたか、活動を通してどのような気付きがあったかなどについてワークシートに書き出し、グループ内で共有しました。

その後、当セミナーで学んだことについて振り返り、今後どのような活動につなげていきたいか、そのためにまずはどのようなことに取り組むかについて考え、グループ内で共有しました。

受講者は、これからの活動に向けて大きな希望にあふれ、とてもいきいきとした顔でセミナー最後のグループ協議に取り組んでいました。



閉講式の様子



受講者の皆さん ～今後の地域での活躍をお祈りしています！～

＊受講者の声＊

- 予想していたよりも多くの人に来場していただき、楽しんでいただけて、大きな達成感を得られました。
- アクティビティの進行だけでなく、ブース全体を見ながら運営していくことが大切だと感じました。
- 活動を企画、準備、実施していく上で、協力して作り上げていく仲間とのコミュニケーションの大切さを改めて学びました。
- 子どもたちやその保護者の方々が、私たちの活動を通して笑顔になってくれたことで、自分の力で社会貢献できた思いになりました。この経験を今後の人生に生かしたいと思いました。
- 運営側として、何をするかから考えて活動に参加することは初めてでしたが、学びがたくさんありました。想定していたことと異なることが良い方向にも悪い方向にもあり、様々な点において幅広い視点から検討したり、詳細を決めておいたりすることの大切さを実感できました。
- 高校生と関わることに不安がありましたが、回数を重ねる毎に会話も増え、協力して活動することができました。
- 大学生と一緒に活動した経験は、今後のことを考える材料になりました。
- このセミナーで学んだことを、今後の実践で確かなものにしていければと思います。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで！

TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp